

芦北町の教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価結果報告書  
(令和3年度実績)

芦北町教育委員会

## 目 次

○芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表	1
------------------------------------	---

### ○点検及び評価結果報告書

#### 【教育課】

1 教育委員会運営事業	3
2 教育研究指定校等支援事業	4
3 学力等検査事業	5
4 英語検定受検支援事業	6
5 小中学校情報通信教育推進事業	7
6 漢字検定受検支援事業	8
7 指導主事配置事業	9
8 語学指導事業	10
9 教職員等健康診断事業	11
10 各種大会等参加費助成事業	12
11 学校給食センター管理運営事業	13
12 子ども自立支援室及び特別支援教育事業	14
13 準要保護児童生徒就学援助事業	15
14 スクールバス運行事業	16
15 通学費補助事業	17
16 小中学校維持管理事業	18
17 学校施設災害復旧事業	19
18 奨学資金貸付事業	20
19 新型コロナウイルス感染症対策支援事業	21
20 教育連携連絡協議会事業	22
21 学校評議員会運営事業	23

#### 【コミュニティセンター課】

22 社会教育委員運営事業	24
23 生き生き大学運営事業	25
24 青少年育成町民会議支援事業	26
25 子ども体験学習開催事業	27
26 演奏家派遣事業	28
27 町民講座運営事業	29
28 成人式開催事業	30

29	家庭教育支援事業	31
30	コミュニティセンター管理運営事業	32
31	子どもの広場管理運営事業	33
32	図書館運営事業	34
33	読書活動推進事業	35
34	放課後子ども教室推進事業	36
35	地域学校協働本部事業	37
36	人権教育推進事業	38
37	中央公民館運営事業	39
38	地区公民館施設整備支援事業	40
39	地区公民館災害対策事業	41

【スポーツ・文化振興課】

40	演能会開催事業	42
41	町誌編さん事業	43
42	佐敷城跡調査事業	44
43	文化財保護審議会運営事業	45
44	文化財調査事業	46
45	文化財維持管理事業	47
46	佐敷東の城跡調査事業	48
47	文化財災害対策維持管理事業	49
48	文化財災害復旧事業	50
49	文化振興事業	51
50	文化祭開催事業	52
51	星野富弘美術館運営事業	53
52	スポーツ振興支援事業	54
53	温泉プール管理運営事業	55
54	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	56
55	体育イベント開催事業	57
56	芦北町スポーツ協会支援事業	58
57	スポーツ推進委員協議会運営事業	59
58	体育施設管理運営事業	60
59	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業	61
60	体育施設災害対策事業	62
61	社会体育施設災害復旧事業	63

芦北町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検評価取りまとめ表

【教育課】

【（ ）内は前年の評価】

理念：「温故創新」古きを学び知り、生きる力を培い、新しさを創る

学校教育目標：徳育を根底に知育・体育を総和した基礎・基本の修得による学力の向上に努め、我が国と郷土及び国際社会に貢献できる人間の育成を図る。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					総合評価	教育委員会評価
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		
教育委員会運営事業		A	A	B	A	A	A	A
1 「知」・・・学力の充実と向上								
教育研究指定校等支援事業		A	A	B	B	A	A	A
学力等検査事業		A	A	B	A	A	A	A
英語検定受検支援事業		A	B	B	B	A	B	B
小中学校情報通信教育推進事業		A	A	B	B	A	A	A
漢字検定受検支援事業		A	B	B	B	A	B	B
指導主事配置事業		A	B	A	B	A	A	A
2 「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進								
語学指導事業		A	A	B	B	A	A	A
3 「体」・・・健康・体力づくりの推進								
教職員等健康診断事業		A	A	B	B	A	A	A
各種大会等参加費助成事業		A	A	B	B	A	A	A
学校給食センター管理運営事業		A	A	B	A	A	A	A
4 不登校対策及び特別支援教育の推進								
子ども自立支援室及び特別支援教育事業		A	A	B	B	A	A	A
5 安全・安心な教育環境の整備推進								
準要保護児童生徒就学援助事業		A	A	B	A	B	A	A
スクールバス運行事業		A	A	A	B	B	A	A
通学費補助事業		A	A	A	B	B	A	A
小中学校維持管理事業		B	A	B	A	A	A	A
学校施設災害復旧事業		A	A	B	A	A	A	A
奨学資金貸付事業		A	B	A	A	A	A	A
新型コロナウイルス感染症対策支援事業		A	A	A	B(A)	B	A	A
6 社会に開かれた教育課程の実現								
教育連携連絡協議会事業		A	B	A	B	A	A	A
学校評議員会運営事業		B	B	B	A	A	B	B

【コミュニティセンター課、スポーツ・文化振興課】

社会教育目標：学校・家庭・地域社会を調和した生涯学習の充実を図る中で、伝統の上に創造を、秩序の中に進歩を希求する姿勢を醸成する。

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価					総合評価	教育委員会評価
		事業のニーズ	町関与の範囲	達成度	効率性	公平性		
1 生涯学習の推進								
社会教育委員運営事業		A	A	B	B	A	A	A
生き生き大学運営事業		B	B	C(-)	C	B	B(-)	B(-)
青少年育成町民会議支援事業		B	A	-	B	B	-	-
子ども体験学習開催事業		A	A	-	B	B	-	-
演奏家派遣事業		A(B)	A	A(-)	B	B	A(-)	A(-)
町民講座運営事業		A	A	C(-)	B	B	B(-)	B(-)
成人式開催事業		A	A	A(-)	A	A	A(-)	A(-)
家庭教育支援事業		A	B	B(C)	A	A	A(B)	A(B)
コミュニティセンター管理運営事業		A(B)	A(B)	B(A)	B	B	B	B
子どもの広場管理運営事業		A	A	C	B	B	B	B

具現化方針	評価	教育委員会事務局評価						教育委員会 評価
		事業の ニーズ	町関与の 範囲	達成度	効率性	公平性	総合評価	
<b>2 読書活動の推進</b>								
	図書館運営事業	A(B)	A	A(B)	B	B	A(B)	A(B)
	読書活動推進事業	B	A	B	B	B	B	B
<b>3 学校・家庭・地域の連携推進</b>								
	放課後子ども教室推進事業	A	A	C(-)	B	B	B(-)	B(-)
	地域学校協働本部事業	A	B	C(B)	A	A	B(A)	B(A)
<b>4 人権教育の推進</b>								
	人権教育推進事業	A	A	-	B	A	-	-
<b>5 公民館活動（地域活動）の充実</b>								
	中央公民館運営事業	A	B	-	B	B	-	-
	地区公民館施設整備支援事業	B	A	B	B	B	B	B
	地区公民館災害対策事業	A	A	B	A	A	A	A
<b>6 歴史・伝統文化の尊重</b>								
	演能会開催事業	A	A	-	B	B	-	-
	町誌編さん事業	A	A	C(B)	B	A	B(A)	B(A)
	佐敷城跡調査事業	A	A	B	A	A	A	A
	文化財保護審議会運営事業	B	A	B	A	A	A	A
	文化財調査事業	A	A	A	B	A	A	A
	文化財維持管理事業	A	A	B	B	A	A	A
	佐敷東の城跡調査事業	B	A	-	C	B	-	-
	文化財災害対策維持管理事業	A	A	A	A	A	A	A
	文化財災害復旧事業	A	A	B	A	A	A	A
<b>7 文化芸術活動の推進</b>								
	文化振興事業	A	A	B	A	B	A	A
	文化祭開催事業	A	A	-	B	B	-	-
<b>8 星野富弘美術館の充実</b>								
	星野富弘美術館運営事業	B	A	A(B)	B	B	B	B
<b>9 生涯スポーツの推進</b>								
	スポーツ振興支援事業	A	A	B	B	B	B	B
	温泉プール管理運営事業	A	A	B	B	B	B	B
	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業	B	B	B	B	B	B	B
	体育イベント開催事業	A	A	-	B	B	-	-
	芦北町スポーツ協会支援事業	A	B	B	B	B	B	B
	スポーツ推進委員協議会運営事業	A	B	B	B	B	B	B
	体育施設管理運営事業	B	A	B	B	B	B	B
	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業	B	A	B	B	B	B	B
	体育施設災害対策事業	A	A	A	A	A	A	A
	社会体育施設災害復旧事業	A	A	B	A	A	A	A

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針			
事務事業名	教育委員会運営事業		
事業の概要	対 象	教育委員、教育職員及び関係者	
	目指すべき姿	芦北町教育立町の理念の下に設けた「学校教育目標」の実現による「教育立町あしきた」を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会議の開催（定例会12回、臨時1回）</li> <li>・教育委員会権限下の規則等の制定、改廃</li> <li>・教育関係職員等の人事事務処理</li> <li>・学校運営の支援及び指導</li> <li>・教育委員会権限下の事務事業点検・評価</li> </ul>	
最終予算額	931千円	決 算 額	771,812円
事業の成果と課題	<p>教育委員会議を年間13回開催し、議案9件、報告27件を審議し、承認しました。教育委員会権限下における主要事務事業の点検及び評価作業を実施するとともに、学校研究発表などを通して、適宜、指導・助言を行いました。</p> <p>教育を取り巻く環境が複雑・多様化する中で、教育委員会の権限の強化とともに、より主体的な取り組みが求められている。今後も委員会活動の益々の活性化を図るよう努めます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>各学校の教育課題を把握し、学校教育目標の実現に向けて主要事務事業の点検及び評価作業が適切に行われている。</p> <p>また、学校の研究発表会などを通して具体的に指導すべき事項を整理して適切な指導助言が行われている。</p> <p>今後も継続して「教育立町あしきた」の確立をめざし、学校運営の支援と協力、効果的な助言をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	教育研究指定校等支援事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒及び教職員	
	目指すべき姿	教職員の意識改革による指導力の強化と併せて児童生徒の確かな学力と心豊かな人間性を持った知徳体の調和のとれた児童生徒を育成する。	
	具体的な事業内容	研究指定校に対し、ICT機器を使った授業の推進や英語教育の推進を行うための活動に助成をおこなう。 ・ICT教育研究指定校 1年目 田浦中学校 ・英語教育研究指定校 1年目 内野小学校 2年目 湯浦小学校	
最終予算額	350千円	決 算 額	349,916円
事業の成果と課題	研究指定校の教師が、ICT機器を活用し、効果的・効率的な授業を実施することで、児童・生徒の学習意欲を高めることが出来ました。また、児童・生徒が意欲的に活動する場面が多く見られ、事業の進歩がみられました。今後、今まで以上に確かな学力（思考力・判断力・表現力）を身に付けさせるためにも、教師のICT活用能力の向上のため継続的な指導体制の構築が必要です。 また、英語教育研究指定校では、主体的・対話的な授業を実施することで、児童・生徒の豊かなコミュニケーション能力の向上に努めました。児童・生徒が進んで学ぶ姿が多く見られ、事業の効果的な進歩を見出すことができました。今後はさらに児童の主体的な活動を重視し、基礎・基本の確実な定着を図り、自ら考え、表現する力の育成につなげていくことが必要であると考えます。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	児童生徒の主体的な学習意欲向上のために、効果的効率的なICT機器の活用が図られている。また、英語教育研究指定校では、豊かなコミュニケーション能力の向上のためICT機器の活用が効果的に進められている。 今後、さらに、教師間の活用能力、技術が平均的に身につくように研修機会も充実してほしい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	学力等検査事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒	
	目指すべき姿	児童・生徒ひとり一人の基礎学力の現状を把握し、ひとり一人の学習指導に結果を活用することによって、児童生徒の学力のレベルアップを図る。	
	具体的な事業内容	○小学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ○中学校 ・学力検査・知能検査・スポーツテスト・QU検査 ・進路適性検査・CRT検査（社会・理科）	
最終予算額	2,902千円	決 算 額	2,774,832円
事業の成果と課題	<p>基礎学力の実態把握と改善策の検討資料として活用できました。また、平成25年度から全国学力状況調査の実施に合わせて中学1・2年生に対しても町独自に学力検査を行い、結果を活用して指導方法の改善、学力の向上に取り組めました。</p> <p>スポーツテストでは、本町の児童・生徒の体力的な実態を把握することで「体」の発達を助長するための参考資料ともなっています。</p> <p>今後は、各検査・テストの結果を活かすための工夫や努力が一過性のものにならないよう、継続的な指導体制の構築が求められます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒の基礎学力向上、体力向上のために、全国学習状況調査及び町独自の学力検査、スポーツテストで、実態把握と改善策が図られている。</p> <p>今後もさらに、教師の授業と直接結びつけた効果的な活用をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		



# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	英語検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	管内中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の英語に対する学習意欲の向上、さらに、それを起爆剤とした他科目の学習意欲を高め、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。	
最終予算額	1, 274千円	決 算 額	1, 273, 700円
事業の成果と課題	<p>平成19年度に開始した事業であり、経済的な負担軽減により、英語検定を受検する機会は増えたと思われます。</p> <p>令和3年度は、この事業を活用した受検者数は372名であり、そのうち合格者は244名、合格率は65.59%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は64.76%で、前年に比べ23.09ポイントの増となりました。</p> <p>今後も語学指導事業と併せて、英語力強化の取組を推進していきたいと思えます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>受検者も増加傾向にあり、合格率も年々上昇傾向が見られる。各学校ともに、適切な受検指導が図られ、特に中学3年生の3級以上の保有者も65%近くで努力の成果が見られる。</p> <p>今後も、さらに、生徒が主体的に受検しようとする姿勢を高めてほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	小中学校情報通信教育推進事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校	
	目指すべき姿	ICT機器を効果的に活用し、町内全体の小・中学校における教育の質、児童生徒の学力及び学習意欲の向上を図る。文部科学省が提唱するICT環境整備方針「GIGAスクール構想」に沿った環境整備を行い、時代のニーズに合った教育を行う。	
	具体的な事業内容	ICT機器の整備（校務用PC、教育用PC、その他ICT機器など）を行う。校務用及び教育用ソフト等の導入によりICT機器を効果的に活用する。ICT機器等について、保守・サポート業務を委託することにより、機器の障害や操作サポート、授業づくりに対応する。	
最終予算額	42,164千円	決 算 額	41,768,857円
事業の成果と課題	<p>令和3年度においては「GIGAスクール構想」に沿った1人1台端末環境整備を一步進め、家庭への持ち帰り活用を行うためのネットワーク環境整備を行いました。</p> <p>国庫補助を活用し、モバイルルーターの購入を行い、自宅にインターネット接続環境が整っていない家庭に対して、貸し出しを行いました。</p> <p>なお、昨年度導入完了した児童生徒の1人1台のタブレット端末や教職員分のタブレット端末、授業支援用ソフト（ロイロノートスクール）、その他ICT機器を導入し、効果的な活用を推進しています。また、校務用ソフト（スズキ校務）を導入しており、教職員の事務管理の効率化を図っています。</p> <p>課題としては、1人1台活用における芦北町としての方針や、有事の際の教育支援（遠隔授業や端末持ち帰り活用など）を進めていくことです。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒、教職員に一台ずつタブレット端末、授業支援ソフト等が完備されており、また、家庭での活用のためのネットワーク環境整備が適切に行われている。</p> <p>今後は有事の際の遠隔授業のあり方も模索してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	漢字検定受検支援事業		
事業の概要	対 象	管内中学校に在籍する生徒	
	目指すべき姿	経済的な負担軽減により受検の機会均等を図り、生徒の国語に対する学習意欲の向上、さらに、それを起爆剤とした他科目の学習意欲を高め、学力向上を目指す。	
	具体的な事業内容	受検者数・受検級を把握したうえで、各学校からの申請に対し、受検料を補助する。	
最終予算額	875千円	決 算 額	866,000円
事業の成果と課題	<p>平成25年度から開始した事業であり、経済的な負担軽減により、漢字検定を受検する機会は増えたと思われます。</p> <p>令和3年度は、この事業を活用した受検者数は372名で、そのうち合格者は186名、合格率は50.00%でした。中学3年生の3級以上保有者の率は47.61%で前年に比べ28.44ポイントの増となりました。</p> <p>今後は、各学校の実態に合わせ目標値を設定するとともに、個人の学力に応じた目標達成に向けて取組を充実させる必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	<b>B</b>	
学識経験者意見	各中学校とともに、生徒の実態に応じた受検指導が行われている。しかし、合格率が50%と、受検することのみが目的とならないように、日常的、段階的にそれぞれの級に応じたスキルと漢字テストを実施してほしい。		
教育委員会評価	<b>B</b>		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「知」・・・学力の充実と向上		
事務事業名	指導主事配置事業		
事業の概要	対 象	芦北町立小中学校の教員及び児童生徒	
	目指すべき姿	芦北町総合計画（第二次）の基本理念「すべては、次代を担う子どもたちのために」及び芦北町教育大綱の基本理念「温故創新」（古きを学び知り 生きる力を培い 新しさを創る）の実現。	
	具体的な事業内容	若手教師の育成、小中学校間の連携の推進、芦北町の特徴を生かした教育の達成に向け、教育委員会と学校間の関係を強化する。	
最終予算額	-千円	決 算 額	-円
事業の成果と課題	<p>令和3年度の成果としては、芦北町における「小中連携における目指す子ども像の系統表」を基に、五者（子ども・教師・家庭・地域・行政）連携の取り組みを各中学校区単位を中心に推進することが出来ました。</p> <p>学力面に関しては、小学6年生と中学3年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査において全国平均以上となりました。また、若手教師を対象とした授業参観指導により若手教師の授業力向上が図ることができました。その他、学びの土台の取り組みを通して、町全体で学力向上に取り組む方向が確認できました。</p> <p>今後の課題としましては、英語力の向上に向けた小中連携の取組を充実させるとともに、小小連携を推進することで若手職員の指導力向上を図る支援が必要となります。また、コミュニティースクールと地域学校協働支援事業の一体的推進を図りながら、家庭教育の充実を図っていく必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>町独自の指導主事の配置により、五者連携の取り組みや若手教師の授業力向上が適切に図られている。</p> <p>今後も指導主事を中心に英語力の向上や、家庭教育の充実をめざして小中連携を推進してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「徳」・・・豊かな心を育む教育の推進		
事務事業名	語学指導事業		
事業の概要	対 象	管内小中学校に在籍する児童生徒	
	目指すべき姿	外国語(英語)の学習意欲を高め、学力向上を目指すとともに、多様な異文化の認識、相互理解、コミュニケーション能力等を身につけることを目指す。	
	具体的な事業内容	<p>外国語指導助手(3名)を招聘し、全ての小中学校の外国語活動及び英語授業の助手として、児童生徒の学力の向上・充実のため授業の充実に取り組む。</p> <p>小学校の外国語(英語)授業の教科化に向けて、完全実施に対応した魅力ある授業づくりに取り組む。また、児童生徒及び地域住民に対しても外国人や外国の文化に触れる機会を設ける。</p>	
最終予算額	15,048千円	決 算 額	15,048,000円
事業の成果と課題	平成29年9月(2学期)から外国語指導助手の招聘方法を、従来のJETプログラムから民間業者委託へ切り替えを行いました。語学指導の経験者など、高い指導力を持った外国語指導助手を招聘することにより、今まで以上に質の高い外国語指導を行うことが出来ました。また、令和2年度から、小学校の英語教科が完全実施となり、小学校と中学校が連携して更なる向上が求められます。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>民間業者委託の外国語指導助手の招聘により、質の高い外国語指導が行われている。また、小学校も英語教科として適切な指導が実施されている。</p> <p>今後も小中間での授業を公開交流し、指導者と指導助手が自信をもって授業に臨めるようにしてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	教職員等健康診断事業		
事業の概要	対 象	管内小中学校に在籍する児童生徒及び教職員	
	目指すべき姿	児童生徒も心身健康な状態で学習に取り組むために自らの成長と健康を把握するとともに、教職員が安心して教育活動に取り組むため、自らの健康について把握することを目指す。	
	具体的な事業内容	医師会等へ業務委託契約し、日程調整等を行い、健康診断を実施し、結果を通知する。	
最終予算額	2, 279千円	決 算 額	2, 123, 140円
事業の成果と課題	<p>児童生徒については、自分の成長と健康について把握することができ、病気の早期治療や予防に役立っています。</p> <p>教職員についても、健康診断により、自身の健康状態を把握することに繋がっています。早期発見を行うことで、治療・療養又は定期的な通院等を行うことができます。近年は心の病気を患う教職員が多いですが、メンタルヘルス調査も実施しており、自身のストレスに気づきセルフケアなどを通じて不調となることを未然に防止する役目を果たしています。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒及び教職員の心身の健康状態を把握し、早期発見・治療・療育につながる健康診断が適切に実施されている。</p> <p>また、教職員のメンタルヘルス調査やセルフケアなど予防的な対策が講じられている。</p> <p>今後も、早期に病気や心の病について診断結果を生かしてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	各種大会等参加費助成事業		
事業の概要	対 象	各種大会に参加する児童生徒	
	目指すべき姿	各種大会への参加について、参加者輸送費の助成をすることにより、より多くの参加・競技力向上を促進する。	
	具体的な事業内容	各種大会へ参加するための民間バス借上げ料について、学校の申請により必要な経費を助成する。	
最終予算額	1, 2 2 3千円	決 算 額	7 1 6, 1 0 0円
事業の成果と課題	<p>スポーツ部門・文化部門において参加可能な全ての大会に参加できており、機会均等が図られています。令和3年度の延べ参加者数は224名でした。</p> <p>なお、事業の効率性を高めるために少人数での参加については、スクールバスの利用を行っています。</p> <p>令和3年度は令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により大会等の中止があったため、参加者数、補助額共に大幅な減となっています。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、多くの大会が中止になっているが、参加できるスポーツ、文化部門において、助成、支援が適切に行われている。今後もさらに、有能な人材を育てるために必要な経費は確保してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	「体」・・・健康・体力づくりの推進		
事務事業名	学校給食センター管理運営事業		
事業の概要	対 象	児童・生徒、教職員	
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事について正しい理解と望ましい食習慣を養う。</li> <li>・学校生活を豊かにし、明るい社会性を養う。</li> <li>・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。</li> <li>・食料の生産、配分及び消費について正しい理解を解く。</li> </ul>	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校児童・生徒及び教職員等への給食の提供。</li> <li>・各学校への栄養士による食育指導。</li> </ul>	
最終予算額	67,088千円	決 算 額	60,400,837円
事業の成果と課題	<p>安心で安全なおいしい給食の提供（地産地消の徹底）と円滑かつ適正な管理運営を行ない、衛生管理に努めました。また、栄養士により町内の小中学校等で食育指導を行い、食事についての正しい知識等を児童生徒に浸透させることができました。</p> <p>今後も引き続き食中毒を出さないように衛生管理を徹底するとともに、計画的な施設修繕が必要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>栄養士を中心に、安心で、安全なおいしい給食の提供が図られている。また、各小中学校食育指導で栄養やマナーなど正しい食事のあり方について指導されている。</p> <p>今後もさらに、食中毒をださない衛生面にも気をつけてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		



# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	不登校対策及び特別支援教育の推進		
事務事業名	子ども自立支援室事業（自立支援室指導員、不登校対策支援員派遣）及び特別支援教育事業（就学指導委員会、特別支援教育支援員派遣、特別支援教育就学奨励費援助事業）		
事業の概要	対 象	教育的支援が必要な児童生徒	
	目指すべき姿	現在登校できない状態にある児童生徒に自立支援室という集まれる場を確保し、指導員による学習指導等を行い、学校への帰属意識を高める。また、特別に支援が必要な児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な援助を行う。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自立支援室（週2回開催）における学習指導等</li> <li>・就学指導委員会による専門的知識を有する者の意見聴取</li> <li>・特別支援教育支援員としての会計年度任用職員の派遣</li> <li>・特別支援教育関係機関との連携を通じた支援体制の推進</li> <li>・特別支援教育就学奨励費による経済的援助</li> </ul>	
最終予算額	48,478千円	決 算 額	47,439,713円
事業の成果と課題	<p>子ども自立支援室における学習指導等の支援により、学校へなかなか登校できなかった子どもが高校進学目標を立て、進路実現を図ることができました。今後は、子ども一人一人の課題が違うため、学校との細やかな情報交換が必要になってきます。就学指導委員会を開催し、児童生徒の適切な就学に寄与しています。</p> <p>特別支援教育支援員は16名の配置し支援の充実を図り、専門家による研修会を開催（年2回）することで、知識の向上に努めています。担任等との支援の方向性を話す時間を確保し、効率的・効果的な支援の在り方を構築していく必要があります。</p> <p>特別支援教育においては、巡回相談を小中学校のみならず、保育園へ周知を図り、療育機関とも連携しながら早期からの就学支援を行う必要があります。</p> <p>特別支援教育就学奨励費補助金については、特別支援学級に在籍する児童生徒に経済的支援を行っています。学校との連携を密にしながら、事務処理等に遺漏のないように努めなければなりません。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>児童生徒の自立支援や進路実現に向けて、適切な対策が講じられている。特に、特別支援教育指導員の配置や専門家による研修会の実施など、担任と連携した効率的効果的な支援体制が図られている。</p> <p>今後さらに、一人ひとりの課題を把握するためにきめ細かい情報交換を進めてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	準要保護児童生徒就学援助事業		
事業の概要	対 象	経済的な理由により就学が困難な児童生徒（保護者）	
	目指すべき姿	対象者に必要な援助を行うことで、子どもが安心して教育を受けられ、教育の機会均等が図られる。	
	具体的な事業内容	就学援助費の支給 ・学用品費、通学用品費、給食費、修学旅行費、新入学学用品費、校外活動費	
最終予算額	15,746千円	決 算 額	14,108,984円
事業の成果と課題	経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより、児童生徒が平等に教育を受けることができます。 令和3年度の認定者数は160名で、その内、令和2年7月豪雨災害対応による認定者数は15名です。今後も一人親世帯や不況・失業等、社会情勢の変化に伴い、事業の必要性は増すことが予想されることから、引き続き周知を図る必要性があります。また、新入学や進学前に必要な学用品の購入が出来るよう、新入生については入学前に援助費の支払いを行っています。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	経済的な理由や、社会的情勢の変化、令和2年度の豪雨災害など就学が困難な児童生徒の保護者に対して、安心して教育を受けられる支援、援助が適切に行われている。 今後も、事業の周知を図ってほしい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安心・安全な教育環境の整備推進		
事務事業名	スクールバス運行事業		
事業の概要	対 象	小学校 5 校及び中学校 3 校	
	目指すべき姿	自宅から学校への遠距離の徒歩通学は、時間的、体力的に児童生徒の負担となり、また、事故や事件等の危険性も高い。その対策として、スクールバスの活用により、児童生徒の通学の負担軽減と安全の確保を図る。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカー10人乗り 3台 (内1台はリースのち購入 (R3.8.20))</li> <li>・スクールバス 29人乗り 18台</li> <li>・人材派遣会社へ運転業務を委託して実施</li> </ul>	
最終予算額	37,098千円	決 算 額	33,526,361円
事業の成果と課題	<p>学校の統廃合が進み、児童生徒の通学距離が長距離となる傾向をみせる中、児童生徒の徒歩による通学は安全確保上厳しい状況下にあります。そのような状況に対応するため、スクールバスの活用を行うことで遠距離通学者の安全な登下校の確保をめざします。また、登下校以外の校外活動や部活動での利用を行うことで更なる利便性を図ることができ、教育行政の機会均等化の実現とそれによる学力向上に貢献することができます。</p> <p>課題としては、今後の学校統合の進行に伴い、利用対象となる児童生徒の範囲が広がることが予想されますので、より計画的で効率的な運行が求められています。</p> <p>令和3年度末での吉尾小学校が閉校により、吉尾地区の児童が佐敷小学校へ通学するためのスクールカーの導入を行いました。安全かつ利便性の高い登下校を望む保護者への要望にも可能な限り対応するため、委託業者との連携の強化を図ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>遠距離通学の児童生徒が、安全に登下校できるように利便性も十分に配慮しながら、スクールバスの運行が行われている。</p> <p>また、令和3年度末に吉尾小学校の閉校により、スクールカーが配備され各地域の状況に応じた運行が行われている。</p> <p>今後も、委託業者と連携した安全な運行をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進の確立		
事務事業名	通学費補助事業		
事業の概要	対 象	遠距離通学等による児童生徒	
	目指すべき姿	遠距離通学に係る経費を補助し、通学距離による負担の格差を解消することで教育の機会均等を図る。	
	具体的な事業内容	民間バス利用通学、鉄道利用通学に要する費用を、学校の申請により補助する。また、小学校4km以上・中学校6km以上の距離を通学するスクールバス非利用者に対し、学校の申請により補助する。	
最終予算額	1,575千円	決 算 額	428,540円
事業の成果と課題	<p>通学に係る費用を補助することで教育の機会均等が図られています。また、定期券購入者には実費補助を行っており、公平性が保たれています。</p> <p>遠距離通学費補助金（12人） 通学費補助金（10人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>遠距離通学者に係る経費を補助し、負担の格差を解消するために、定期券購入の補助、スクールバス非利用者への補助など家庭の負担軽減が図られている。</p> <p>今後も各学校の児童生徒の実態を把握して費用の補助をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	小中学校維持管理事業		
事業の概要	対 象	町内全小中学校	
	目指すべき姿	学校施設の整備を図ることにより、安全で快適な教育環境を提供する。	
	具体的な事業内容	各小中学校修繕の外、田浦小及び内野小職員トイレ改修工事、湯浦中学校フェンス取替工事等を実施した。	
最終予算額	16,934千円	決 算 額	16,297,226円
事業の成果と課題	<p>学校施設の改修を行ったことで、安全で快適な教育環境が生み出され、児童生徒は充実した生活を営むことができました。</p> <p>課題としては、建築からかなりの年数が経過して老朽化が進行している校舎及び施設が多く、今後は費用の面から緊急度・優先度を見極めて整備する必要があります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>学校施設の改修は、緊急度、優先度を見極めて計画的に実施されている。しかし、それでも特に田浦小学校の外壁はかなり古くなっており、児童の学習環境面からも急ぎ塗装するなど改修が必要である。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	学校施設災害復旧事業		
事業の概要	対 象	被災した学校施設	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨にて被災した学校施設を復旧し、従来の教育環境を取り戻し、子どもたちの学びの場を確保する。	
	具体的な事業内容	国庫補助事業等の活用により、迅速な復旧を行なう。 (令和2年度繰越事業) 佐敷小学校：校舎等復旧外 大野小学校：法面崩壊 佐敷中学校：校舎等復旧外 湯浦中学校：法面崩壊	
最終予算額	350,791千円	決 算 額	244,002,678円
事業の成果と課題	令和2年7月豪雨において被災した学校施設について、国庫補助の適用（補助率：89.4%）を受け、復旧を行ないました。 床上浸水した佐敷小、佐敷中の学校再開については、佐敷小学校は10月に、佐敷中学校は8月に従来の環境での学校再開が出来ました。 なお、付随する追加工事については、建物災害共済金を活用し復旧を行い、一部の工事については、令和4年度に繰越し事業を進めています。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	令和2年7月豪雨で被災した佐敷小学校、佐敷中学校は多額の国庫補助を受けて復旧し、再開したことは大変喜ばしいことである。復旧に関わった多くの人に感謝したい。		
教育委員会評価	A		
担当課	教育課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	奨学資金貸付事業		
事業の概要	対 象	高等学校、大学及びこれらと同程度の学校に修学する者	
	目指すべき姿	高校、大学等に進学を希望する学徒で、経済的な理由により修学が困難な者に対して奨学資金を貸与し、学習の機会を確保する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額1万5,000円以内の貸付</li> <li>・大学（同程度の学校に修学する者含む。）1人当たり月額5万円以内の貸付</li> <li>・入学準備金50万円以内の貸付</li> <li>・令和3年度貸付者に対する1人当たり月額1万円の給付</li> </ul>	
最終予算額	37,000千円	決 算 額	28,160,000円
事業の成果と課題	<p>事業の成果は、新規申請者7名（大学7名、高校0名）に対して、全員を奨学生として採用し、教育の機会均等に資することができました。継続貸付者は30名で、合計37名を奨学生として採用しています。</p> <p>現年度分の収納率は98.66%、過年度分の収納率は54.70%です。現年過年度合わせた令和4年度への滞納繰越額は2,853,000円となり、令和3年度の滞納繰越額4,779,300円から1,926,300円減少しました。今後も滞納額の縮減に向け、催告状の送付や訪問徴収を実施していく必要があります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響による奨学生への負担支援として、令和3年度貸付者を対象に月額1万円を給付しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>経済的な理由や社会的な経済情勢、コロナ感染症の影響など奨学生への貸与支援が適切に行われている。滞納額も縮減に向けて細やかな対応で減少しつつある。</p> <p>しかし、今後も大変ではあるが、催告状や訪問徴収を継続してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	安全・安心な教育環境の整備推進		
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策支援事業		
事業の概要	対 象	小中学生等の保護者、小中学校	
	目指すべき姿	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、経済的に負担を強いられている家庭を支援する。また、学校における感染防止対策の環境を整える。	
	具体的な事業内容	修学旅行費補助金 修学旅行において感染症対策を講じた追加費用分を保護者に助成する。 手洗い場増設工事 手洗い場が不足している学校に、手洗い場を増設する。	
最終予算額	13,022千円	決 算 額	12,170,019円
事業の成果と課題	修学旅行費補助金については、小学6年生と中学2年生が実施する修学旅行において、感染防止対策（バスの増便等）を講じた追加費用分を保護者に助成しました。 小学校（3校） 中学校（3校） 手洗い場増設工事については、学校全体の手洗い場が不足傾向にある学校に対し、手洗い場を増設し、感染防止対策が図られました。 小学校（1校） 中学校（1校）		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	新型コロナの感染を予防するために、修学旅行でのバスの増便や学校手洗い場の増設など、衛生面、安全面を配慮した適切な対応が講じられている。コロナ収束までは、ぜひ支援の対応をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		



# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現		
事務事業名	教育連携連絡協議会事業		
事業の概要	対 象	町内小中学生、保育園児（未就学児）	
	目指すべき姿	保育園等から小学校へ、小学校から中学校へ滑らかに移行できるように、様々な取組みを行い、学校に対する不安や抵抗感をなくすとともに、各機関の連携を図った教育指導等を確立する。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育連携連絡協議会開催</li> <li>・幼保小中連携部会・特別支援教育連携部会の開催</li> <li>・校区別担当者（コーディネーター）会議の開催</li> <li>・各関係機関との交流活動</li> </ul>	
最終予算額	68千円	決 算 額	42,460円
事業の成果と課題	<p>各中学校区において、子どもの発達の段階に応じた「目指す子ども像」の育成の実現及び「幼保小中連携カリキュラム」に沿った共通実践を行い、保護者と連携した取組ができるよう周知を図る必要があります。交流活動等を実施することにより、子どもたちや保護者の就学先への不安や抵抗を無くすることができるよう、コロナ禍でも対応可能な交流活動の実施が必要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、対応可能な交流の場を設け、各中学校区を中心に、幼保小中連携カリキュラムの共通事項を元に特色ある交流活動が実施されている。</p> <p>今後も滑らかな移行ができるような交流の内容も考えた活動を進めてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	社会に開かれた教育課程の実現		
事務事業名	学校評議員会運営事業		
事業の概要	対 象	芦北町内の小・中学校	
	目指すべき姿	芦北町立小・中学校校長が、保護者や地域住民等の意向を把握・反映させながら、その協力を得て、開かれた学校運営を推進する。	
	具体的な事業内容	校長が、学校運営に関し、自己の権限と責任に属する事項のうち必要と認める事項について学校評議員に意見を求め、意見を参考としつつ学校運営を行う。また、活動状況等について、学校評議員に報告する。	
最終予算額	530千円	決 算 額	362,600円
事業の成果と課題	<p>各委員に理解と協力をいただき、学校活性化の推進を図るための課題解決について、適切な提言などをいただいています。</p> <p>開かれた学校づくりや学校改革は、教職員一人ひとりの意識の変容と建設的な意見・意欲、エネルギーなどが必要です。</p> <p>次年度より学校評議員制度を発展解消し、新たに中学校単位の学校運営協議会（コミュニティスクール）として運営していきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>学校の活性化と地域に開かれた学校づくりをめざして、学校の課題解決に向けて適切に学校評議員の提言が行われている。次年度は、新たな学校運営協議会（コミュニティスクール）のスタートに向けて多方面からの提言を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	教 育 課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	社会教育委員運営事業		
事業の概要	対 象	社会教育委員	
	目指すべき姿	社会教育法第15条に規定される社会教育委員は、教育委員会の諮問に応じ助言や意見を述べるなど、更なる家庭教育や地域教育力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	教育委員会事務局が提示した、社会教育各種計画案の審議、または、社会教育法第17条第3項に規定される教育委員会から委嘱された青少年教育の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者に対し、助言や指導を行う。	
最終予算額	730千円	決 算 額	511,416円
事業の成果と課題	<p>3月の委員会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面によるものとなりましたが、年2回（5月・3月）委員会を開催し、社会教育に関する事業について提言・意見をいただきました。</p> <p>山鹿市で開催された熊本県教育研究大会や、九州ブロック社会教育研究大会（長崎市）はオンライン等での参加となりましたが、今後も研修等に積極的に参加し、委員の資質向上も図っていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、社会教育に関する事業への提言や、オンラインで県社会教育研究大会、九州ブロック社会教育研究大会に参加するなど、社会教育委員としての職務を高める研修が実施されている。</p> <p>今後も、資質向上をめざした魅力ある研修機会を設けてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	生き生き大学運営事業		
事業の概要	対 象	高齢者（60歳以上）	
	目指すべき姿	急激に変貌する現代社会にあつて、高齢者が社会に適応し、豊かで生きがいのある生活を創造するための一助となることを目的とする。	
	具体的な事業内容	全地区を対象に受講生を募集し、4地区（田浦・佐敷・湯浦・大野）において毎月1回（年間9回）のクラブ活動（ヨガ、健康料理教室等）を実施している。	
最終予算額	185千円	決 算 額	98,045円
事業の成果と課題	<p>6月からの開校を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期し、10月からの開校となりました。</p> <p>安全安心にクラブ活動ができるよう活動内容の見直し、受講者数の制限を設ける等、感染防止対策を行った上で受講生募集をしましたが、申込が少なく、僅か1クラブのみの開校となりました。</p> <p>さらに、1月末からまん延防止等重点措置が適用されたため、2月からの活動は中止となりました。</p> <p>感染症対策はもちろんのこと、自粛期間が長引いたことによる学習意欲の低下を、どのように活性化させていくかが課題として挙げられます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	C	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、開校時期の延期や活動の休止などは止むを得ないことである。安全を第一に感染症対策がとられた主催者側の対応は申し分ない。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	青少年育成町民会議支援事業		
事業の概要	対 象	町内の青少年	
	目指すべき姿	青少年健全育成町民会議の活動を支援することにより次代を担う青少年の健全な育成を図る。	
	具体的な事業内容	一日一汗運動、夏祭り街頭指導、講演会、子ども体験学習【学習体験・その他体験】(共催)、青少年発表会の活動へ補助	
最終予算額	300千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業の実施を全て中止しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>例年実施されている青少年の健全育成事業、一日一汗運動、街頭指導、講演会、子ども体験活動など中止されたことは残念なことである。</p> <p>しかし、安全を最優先に中止する判断はきわめて大切なことである。今後の活動に期待したい。</p>		
教育委員会評価	-		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	子ども体験学習開催事業		
事業の概要	対 象	小学校4年～6年生	
	目指すべき姿	体験活動を通じて、日常生活において不足しがちなふれあいや、協調の大切さなどを学ばせると共に、多様な交流の場を提供する。	
	具体的な事業内容	町内及び町外での自然、文化・歴史、芸術・科学に関して年2回の体験学習の開催	
最終予算額	0千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	<p>夏休み、冬休み期間中を利用し、年2回の実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>次年度からは、本事業を廃止し、子どもの広場において、季節ごとの行事に絡んだワークショップや木育イベントを実施していきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>児童の野外活動、文化活動などコロナ禍で中止されたことは止む得ないことである。次年度からのワークショップや木育イベントなど新しい企画を期待したい。</p>		
教育委員会評価	-		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	演奏家派遣事業		
事業の概要	対 象	小学生	
	目指すべき姿	次世代の音楽文化を担う子どもたちが音楽の素晴らしさや楽しさを体感し、豊かな心を育むとともに、住民の心を豊かにし、魅力的なまちづくりを実現する。	
	具体的な事業内容	県立劇場と共催で演奏家を派遣し、出前講座を行う。 大人数で鑑賞する演奏会とは異なり、限られた空間で生の音に触れ演奏家との対話を通じて音楽を楽しむことを目的とするもの。	
最終予算額	210千円	決 算 額	210,000円
事業の成果と課題	<p>生の演奏に加え、実際に楽器に触れたり、どんな印象を受けたか、何を表現した曲か等、児童とのコミュニケーションを通じた出前講座で、各小学校において、児童数が多い学校は6年生、少数校は全校生徒を対象として実施しました。</p> <p>その後のアンケートにおいて、音楽が好きになった、興味が出た、また授業をしてほしい等、高評価をいただきました。</p> <p>実施月・・・12月 佐敷小、湯浦小、内野小・・・琴 田浦小、大野小、吉尾小・・・クラリネット</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>各小学校で実施された生の演奏会は、児童の感性を高める上で素晴らしいことである。また、実際に楽器に触れたり質問したりと交流を通じた活動が展開されている。</p> <p>今後もぜひ続けてほしい事業である。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	町民講座運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民の教養の向上、生きがいや仲間づくりのため、町民自らが学習のテーマを持って学習活動に取り組む	
	具体的な事業内容	年間を通して趣味や健康づくり、教養等の講座を実施。 町民講座 28 講座、子ども講座 5 講座の開講	
最終予算額	1, 590千円	決算額	734, 687円
事業の成果と課題	<p>1人につき3講座まで受講でき、同じ講座の受講は最大5年間と制限を設けることによって、より多くの方に受講する機会が設けられるよう考慮しています。</p> <p>令和3年度は、コロナ禍においての「新しい当たり前」を模索し検討を重ね、感染症対策を十分に行った上で10月から開講しましたが、受講者が集まらず、28講座中、15講座での開講となりました。</p> <p>また、1月にまん延防止等重点措置が適用されたため、1月後半以降の活動は中止となりました。</p> <p>今後の課題としては、感染症対策はもちろんのこと、自粛期間が長引くことで低下している学習意欲をどのように活性化させるかが挙げられます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、年間を通した講座の推進は厳しいものがあつたが、15の講座が開講されるなど、主催者の苦勞が伺える。</p> <p>今後難しいことかもしれないが、講座の内容によってはリモート学習や自主的学習など新しい方策も検討してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	成人式開催事業		
事業の概要	対 象	新成人（令和3年度は平成13.4.2～平成14.4.1生）	
	目指すべき姿	成人式実行委員会を発足し、式典の一部を運営することによって、地域づくりの担い手としての自覚を持ち、成人を全員でお祝いし、活躍してもらう。	
	具体的な事業内容	成人の前日に成人式の開催 令和3年度 対象者 167人	
最終予算額	579千円	決 算 額	521,442円
事業の成果と課題	<p>令和4年1月9日に、芦北町地域活性化センターで開催しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の中、開催の可否について検討を重ねた結果、一生に一度の人生の節目となる重要な式典であることを考慮し、開催を決定しました。</p> <p>密の回避、マスク着用、手指消毒等の一般的な感染防止対策に加え、式典の時間短縮、事前に体調チェックリストの送付や、当日ワクチン未接種者に対する抗原検査を実施するなど、できうる限りの対策を行い実施しました。</p> <p>例年とは全く違う状況の中でしたが、混乱もなく、成人者及び保護者からは、開催してもらってよかったと喜びの声を多数いただきました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍での開催は賛否があったものと思われるが、感染症対策を十分にとりながら、式典が開催できて良かったと思う。</p> <p>次年度も完全なコロナの収束には至らないかもしれないが可能な限り実施の方向で検討してほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	家庭教育支援事業		
事業の概要	対 象	町内小・中学校児童生徒、保護者	
	目指すべき姿	家庭の教育力の向上を図るとともに、不登校や問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応により、児童生徒の健やかな成長に資する。	
	具体的な事業内容	支援員1名を配置（拠点：コミュニティセンター課） 町内小・中学校を管轄し、各種相談に対応 小・中学校の要請に応じ、「親の学び」講座を開催 家庭教育情報誌の発行	
最終予算額	853千円	決 算 額	852,282円
事業の成果と課題	<p>支援員により保護者等からの様々な相談に対応しました。 また、「親の学び」講座については、新型コロナウイルス感染拡大により、各学校からの要請はありませんでしたが、支援員による少人数での単独講座の開催などを実施しました。</p> <p>令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 25件</li> <li>・「親の学び」講座開催 3回</li> <li>・家庭教育情報誌発行 4回</li> <li>・家庭教育支援ネットワーク会議 10回</li> <li>・小学生への命の授業 1回</li> </ul>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、支援員による相談対応、少人数での親の学び講座、家庭教育支援ネットワーク会議など保護者のニーズに対応した相談体制や研修会が開催されている。 今後もさらに、充実した内容を考えてほしい。</p>		
教育委員会評価	A		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進								
事務事業名	コミュニティセンター管理運営事業								
事業の概要	対 象	コミュニティセンターの施設設備							
	目指すべき姿	コミュニティセンター施設使用者が、安全で快適に利用できるよう施設を管理運営する。							
	具体的な事業内容	各種施設設備（電気保安業務、エレベーター保守等）点検や施設管理、警備や清掃等の業務委託、施設の維持管理							
最終予算額	21,637千円	決 算 額	15,074,616円						
事業の成果と課題	<p>芦北町総合コミュニティセンターに係る、各種設備点検、清掃、警備等の業務委託を行い、施設の維持・管理に努めました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の中、公民館、図書館、子どもの広場それぞれの施設において清掃、消毒作業を徹底して行いました。</p> <p>また、入館者には検温、手指消毒、入館カードを記入していただく等感染防止対策を実施しています。</p> <p>○令和3年度の利用者数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・公民館・・・・・・・・6,638人</td> <td style="padding-left: 100px;">・歴史展示資料室・・・・・・・・843人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・図書館・・・・・・・・30,245人</td> <td style="padding-left: 100px;">・子どもの広場・・・・・・・・22,812人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding-left: 20px;">利用者の合計　　60,538人</td> </tr> </table>			・公民館・・・・・・・・6,638人	・歴史展示資料室・・・・・・・・843人	・図書館・・・・・・・・30,245人	・子どもの広場・・・・・・・・22,812人	利用者の合計　　60,538人	
・公民館・・・・・・・・6,638人	・歴史展示資料室・・・・・・・・843人								
・図書館・・・・・・・・30,245人	・子どもの広場・・・・・・・・22,812人								
利用者の合計　　60,538人									
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない						
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討						
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った						
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり						
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり						
	総合評価	B							
学識経験者意見	<p>芦北町総合コミュニティセンターの開館で、子どもの広場、図書館など利用が増えている。感染症の対策、施設の点検、清掃、警備なども適切に維持管理がなされている。</p> <p>今後も、生涯学習センターとしてさらなる利用PRをお願いしたい。</p>								
教育委員会評価	B								
担当課	コミュニティセンター課								

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯学習の推進		
事務事業名	子どもの広場管理運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	子どもの広場の利用者が、安全で安心して利用できるよう施設を管理運営する。	
	具体的な事業内容	施設内清掃、遊具の消毒。 各種イベント（木工教室、木育教室、食育教室、知育教室）の開催。	
最終予算額	6, 932千円	決算額	6, 621, 407円
事業の成果と課題	<p>子どもの広場では、入館者に対して検温、手指消毒、入館カードの記入など新型コロナウイルス感染防止対策を実施するとともに、施設内の清掃、遊具の消毒を行い、利用者の見守りを行うなど安全・安心に配慮して運営しました。</p> <p>また、肥薩おれんじ鉄道、企画財政課、コミュニティセンター課の3者協働によるワークショップ、紅茶づくりワークショップ及びクリスマス&amp;お正月リースづくりワークショップを実施しました。</p> <p>今後は、感染症対策はもちろんのこと、幅広い方々にご利用いただけるよう、他課等との連携を図りながら、木育等に関するイベントやワークショップを開催していきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ感染症対策を十分にとりながら、肥薩おれんじ鉄道、企画財政課、コミュニティセンター課3者協働による新しい事業のあり方を模索し、魅力的なワークショップが実施されている。</p> <p>今後も、さらに他の機関などとも連携した、木育に関するイベント、ワークショップを展開し、子どもの広場の充実を図ってほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	読書活動の推進		
事務事業名	図書館運営事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	教養、調査、読書活動等に資する資料を提供し、知の情報拠点となる。	
	具体的な事業内容	図書館システムの活用により、図書等を収集・整理・保存し、利便性の高い利用者サービスを提供する。また、町立図書館の適切な施設管理をおこなう。	
最終予算額	18,384千円	決算額	17,746,650円
事業の成果と課題	<p>図書館では、町民のニーズに合った図書の提供と適切な蔵書管理を行い、生涯学習に対応する資料提供と心豊かな人間を育む知の情報拠点としての機能を果たしました。</p> <p>新図書館は、開館から約1年4カ月経過したところですが、旧図書館と比較して利用者数、貸し出し冊数共に大きく増加しました。</p> <p>利用者数（R元） 4,463人→（R3）30,245人 貸出冊数（R元）10,266冊→（R3）41,607冊</p> <p>また、新図書館開館に併せて導入した書誌管理用ICタグにより効率的な蔵書点検を実施しました。</p> <p>さらに、利用状況を分析し、利用の多かった児童書コーナーを拡充しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>図書館のシステム導入により、利用数、貸出冊数が大きく増大している。特に児童書コーナーの充実も利用増につながっている。</p> <p>今後も利用者のニーズに対応した図書運営を期待したい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	読書活動の推進		
事務事業名	読書活動推進事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	子どもの頃から読書・本に親しみ、生涯にわたり学習する意欲を養い心豊かな人間性を育む	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内企画展示、図書館情報の発信</li> <li>・読書感想文コンクール、ブックスタート事業、絵本の読み聞かせの実施</li> <li>・学校連携事業</li> </ul>	
最終予算額	2, 1 6 3千円	決算額	2, 1 2 6, 5 8 3円
事業の成果と課題	<p>図書館では、テーマを設けた企画展示やホームページ上で新着図書などの情報を発信するなど利用者の読書活動の推進に努めました。また、読書感想文コンクールや新生児3・4カ月健診時のブックスタート事業、子どもの広場と協同での定期的な絵本の読み聞かせなどにより、子どもたちが本に触れるきっかけを創出しました。</p> <p>さらに、職員の派遣による小学校図書室運営支援や、授業で制作した美術作品を町立図書館に掲示するなど図書館と学校の連携を図りました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>新たな図書館教育の在り方が検討され、企画展や新着図書の案内、新生児を対象としたブックスタート事業、絵本の読み聞かせ、職員による学校の図書室運営支援など現代のニーズに対応した運営が行われている。</p> <p>今後も、本に親しむことで豊かな人材の育成をつなげる読書活動を期待したい。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	学校と地域社会の連携推進		
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		
事業の概要	対 象	佐敷小学校1年～3年生、湯浦小学校1年～6年生	
	目指すべき姿	地域の方々の協力を得て放課後に子どもの安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策を実施する。	
	具体的な事業内容	<p>地域ボランティアの協力をいただき湯浦小学校と佐敷小学校で週2回（火曜・木曜）、午後3時から午後5時15分まで勉強やスポーツ、レクリエーション、交流活動を行う。</p> <p>主な活動内容：学習タイム、ニューススポーツ体験、グラウンドゴルフ、県ボランティア派遣事業を活用したバルーンアート体験や、読み聞かせ、朗読等。</p>	
最終予算額	1,894千円	決 算 額	782,238円
事業の成果と課題	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2学期のみ事業を実施しました。</p> <p>課題として、各校1名ずつ（計2名）コーディネーターに委嘱していますが、佐敷小コーディネーターは学校支援員であるため、勤務先異動になる場合が考えられます。コーディネーターの育成及び新規サポーターの確保が必要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 （事業の効率性を高められるか）	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 （事業効果の配分や受益者負担は適切か）	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、二学期のみの活動であったが、湯浦小学校、佐敷小学校ともに、魅力的な学習内容が展開されている。</p> <p>今後もコーディネーター及びサポーターの新規確保が急務であるが、継続してほしい事業である。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	学校と地域社会の連携推進		
事務事業名	地域学校協働本部事業		
事業の概要	対 象	田浦小学校児童および田浦中学校生徒	
	目指すべき姿	学校活動の中で学校が必要とするボランティアを派遣し、支援することで学校と地域が連携・協働し、地域ぐるみで子どもたちを育てる。	
	具体的な事業内容	田浦中学校区において、地域学校協働本部事業（学習支援、安全支援、環境整備支援、心支援等）を行う実行委員会へ補助金を交付し、活動の推進を図る。	
最終予算額	1,424千円	決 算 額	393,215円
事業の成果と課題	<p>田浦中学校区において、地域コーディネーターを中心に学校が求める活動へボランティアを派遣し支援することとしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、図書室の掲示や、校外学習等の付添いなど限られた活動のみの支援となりました。</p> <p>運営協議会を年2回開催（書面開催）し、委員から活動計画への助言、意見等をもらい活動に活かしています。</p> <p>今後、事業を推進するうえで新たなコーディネーターの発掘、サポーターの高齢化による確保困難等が課題となりますので、ボランティア募集のチラシを作成するなど、広報に力をいれていきます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、制限された活動内容であるが、地域コーディネーターを中心に支援が図られている。</p> <p>今後、コーディネーターの発掘など難しい面もあるが、地道でも継続できる活動をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	人権教育の推進		
事務事業名	人権教育推進事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	人権が尊重され、差別のない社会をつくる。	
	具体的な事業内容	水俣芦北地区人権教育推進協議会への参画 水俣芦北地区人権教育研究大会参加 熊本県人権教育研究大会、部落解放研究集会、人権に関する各種研修会への参加	
最終予算額	53千円	決 算 額	23,300円
事業の成果と課題	<p>例年、教職員、行政職員等へ参加を呼びかけている県大会や水俣芦北地区大会が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。</p> <p>今後とも、各種大会等に参加し学ぶことで、人権問題に対する知識や関心と理解を深めてまいります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>コロナ禍での中止は止むを得ないことである。今後あらゆる場、機会をとおして、さらなる人権啓発をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	-		
担当課	コミュニティセンター課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	中央公民館運営事業		
事業の概要	対 象	自治公民館	
	目指すべき姿	地域の活性化や安全・融和等それぞれの地域の特色を生かした創造性豊かな自治公民館活動の充実。	
	具体的な事業内容	公民館運営審議会の開催、公民館研究大会への参加、自治公民館長研修会等の実施をとおして自治公民館活動への指導、助言、支援等。また、中央公民館の使用許可、減免申請の受付、物品の貸し出し業務。	
最終予算額	405千円	決 算 額	136,207円
事業の成果と課題	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公民館研究大会や研修会等、全ての事業が中止となりました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	自治公民館活動の発展のためには、研修会や大会参加はとても意義のあることである。しかし、コロナ禍での中止は止むを得ないことである。次年度開催に期待したい。		
教育委員会評価	-		
担 当 課	コミュニティセンター課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	公民館活動（地域活動）の充実		
事務事業名	地区公民館施設整備支援事業		
事業の概要	対 象	自治公民館施設	
	目指すべき姿	自治公民館利用者の利便性を図り、自治公民館の使用を増進し、自治活動の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	地区公民館施設整備支援事業によって地区公民館の建設等を行う地域に対して補助金を交付し、自治公民館利用者の利便性や周辺環境を改善する。	
最終予算額	8,732千円	決 算 額	732,000円 (8,000,000円はR4へ繰越)
事業の成果と課題	<p>本事業の実施により、自治活動の場所や環境が改善され、自治公民館活動の向上が見込まれます。</p> <p>令和3年度は、計石公民館ほか3か所の公民館の修繕等に係る経費に対し、補助金を交付しました。</p> <p>自治公民館は、地区活動の拠点であると同時に、災害が発生した場合の一時避難所となる機会も多いため、地区の要望に寄り添いながら事業を継続していくことが重要です。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>令和3年度計石公民館など3か所に修繕等の補助金が適切に交付されている。自治公民館は災害等発生した場合の一時避難場所としての役割が多いことから、今後もできるだけ要望に対応した取り組みを継続してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	コミュニティセンター課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	演能会開催事業		
事業の概要	対 象	町民及び近隣市町村住民	
	目指すべき姿	日本固有の伝統芸能である薪能等を鑑賞できる機会を提供し、文化財の愛護及び豊かな感性を育み伝統文化の大切さを感じてもらう。	
	具体的な事業内容	芦北町演能会の実施 ・ 箏と尺八の演奏 ・ 狂言と能の上演	
最終予算額	0千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	芦北町を代表する文化イベントとして定着していましたが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者	芦北町の演能会は、日本の伝統芸能として薪能の上演など魅力的な事業で歴史がある。本年度もコロナ感染症対策が最優先で中止は止むを得ないことである。今後の開催を期待したい。		
教育委員会評価	-		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	町誌編さん事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	ふるさと芦北に対する理解と愛着を深め、町民文化の向上を図ることを目的とする。	
	具体的な事業内容	『新 芦北町誌』の制作 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町誌編さん委員会（1回）</li> <li>・町誌編集委員会（3回）</li> <li>・分野ごとの執筆者を集めた協議（3回）</li> <li>・現地調査（3回）</li> </ul>	
最終予算額	30,284千円	決 算 額	122,726円
事業の成果と課題	<p>本事業は令和3年度を事業の最終年度として位置付け、年度内の刊行に向けて編さん作業に取り組みました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、公立図書館や大学図書館の休館等により、原稿執筆に必要な資料閲覧や調査が困難となり、また、令和2年7月豪雨災害で町内各地が被災したことにより現地調査を十分に行うことができず、原稿執筆に支障が生じたことから、原稿執筆期間を確保するため、翌年度へ事業を繰越しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	C	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
	学識経験者意見	「新芦北町誌」発行が期待される中において、新型コロナのため原稿執筆や資料閲覧調査、現地調査が遅れていることは仕方のないことである。次年度の完成を期待したい。	
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷城跡、佐敷城跡出土物	
	目指すべき姿	佐敷城跡についての理解と関心を町民に深めてもらうとともに、後世に伝える。	
	具体的な事業内容	国史跡佐敷城跡の出土遺物の効率的な整理作業及び調査研究。 ・出土遺物整理（通年） ・広報あしきた連載（平成28年10月～）	
最終予算額	5,667千円	決 算 額	5,647,798円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡は、町を代表する歴史資産であるため、保存管理計画に基づき適正に管理を進めています。また、これまでの調査成果については『広報あしきた』に連載を行い、佐敷城跡に対する住民の意識向上に努めました。 なお、令和2年7月豪雨災害により文化財収蔵庫及び武徳殿が床上浸水し、佐敷城跡出土遺物や図面、記録写真等多くの資料が水没しました。これら水損した資料は町内各施設に移動して昨年に引き続き修復作業を行い、一部は県外の専門機関に修復を依頼しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高めるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	佐敷城跡は、歴史資産として町民にも広く調査結果を知らせるために「広報あしきた」に連載するなど、住民への意識向上が図られている。豪雨災害による資料等の修復には時間がかかると思われるが、今後も適切な保存管理をお願いしたい。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財保護審議会運営事業		
事業の概要	対 象	芦北町文化財保護審議会委員、町内に残る文化財	
	目指すべき姿	町内に残る歴史遺産の保護継承を図り、町民の文化財保護意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	文化財保護審議会における、町内文化財の保護及び活用に関する指導助言、町指定文化財に関わる審議を行う。 ・文化財保護審議会開催（2回） ・熊本県文化財保護大会（1回） ・文化財保護先進地視察研修	
最終予算額	167千円	決算額	64,580円
事業の成果と課題	令和3年度は、保管場所が町外に移動した町指定文化財1件（各務支考筆）について指定の解除を行いました。 なお、文化財保護先進地視察研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	町に残る貴重な文化財の保護、活用に向けて審議会委員の適切な提言が行われている。先進地視察研修は中止となっているが、次年度開催を期待したい。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財調査事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	地域の歴史を解明し、町内外の方に地域の歴史に対する理解を深め、町民の文化財保護意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	周知の埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対し、事前調査及び調整を行う。 また、町内に残る歴史的建造物や古文書、遺跡、伝統芸能、風習など貴重な各種文化遺産や地名等について調査を行う。	
最終予算額	146千円	決 算 額	118,789円
事業の成果と課題	<p>令和3年度は、事業者からの依頼による開発行為に伴う埋蔵文化財確認を117件実施しましたが、いずれも周知の埋蔵文化財包蔵地外または設計段階での調整により、埋蔵文化財のき損、滅失等を回避することが出来ました。</p> <p>また、令和2年7月豪雨により被災した住宅の再建等、復旧・復興に係る案件については文化財保護法の弾力的運用により10件の試掘調査が回避され、文化財保護と被災住民の生活再建を両立させながら円滑に進めることが出来ました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
	学識経験者意見	<p>開発行為を伴う117件の埋蔵文化財は、包蔵地外や設計段階での調整により埋蔵文化財のき損、滅失等が回避されたことは喜ばしいことである。また、被災した住宅等の10件の試掘調査も回避されるなど弾力的な運用が行われている。</p>	
教育委員会評価	A		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財維持管理事業		
事業の概要	対 象	歴史的建造物、土木遺産、古文書、伝統芸能、風習等	
	目指すべき姿	町内に残る文化財の保存継承を図る。	
	具体的な事業内容	町内文化財の維持管理及び周知活動等に係る事業を行う。 ・指定文化財の維持管理（草刈・清掃・点検・修繕等） ・指定文化財の管理への謝金・郷土芸能団体への報奨金 ・町民歴史講座の実施（座学2回・現地見学1回）	
最終予算額	15,023千円	決 算 額	14,384,083円
事業の成果と課題	国史跡佐敷城跡をはじめ指定文化財の維持管理を定期的に行っており、適正な保存管理に努めています。佐敷城跡の史跡指定範囲地内に落石等の危険性があることから、国庫補助事業を活用して斜面落石対策工事を実施し、隣接する民家を保護するとともに史跡指定範囲地内の保全を図りました。 令和2年7月豪雨災害で被災した町内遺跡出土物などの資料については、関係機関の協力を得ながら、引き続き保存処理を行いました。 また、指定文化財管理者及び郷土芸能保存団体へ、維持管理と保存継承に対する謝金の支払い及び薩摩街道の老朽化した標柱2ヶ所の取替えを行いました。 なお、令和3年度町民歴史講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	危険を早急に察知し、落石のあった佐敷城跡の斜面落石対策工事や、被災した遺跡出土物などの資料の保存処理など、適切な対応が図られている。また、指定文化財管理者及び郷土芸能保存団体に対し、謝金を支払うなど維持管理、保存継承が適切に行われている。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	佐敷東の城跡調査事業		
事業の概要	対 象	佐敷東の城跡及びその周辺の関連遺跡	
	目指すべき姿	県内でも有数の中世山城とされる佐敷東の城跡（町指定史跡）の史跡としての価値を高め、町民の理解を深めるとともに、文化財に対する町民の意識の高揚を図る。	
	具体的な事業内容	佐敷東の城跡（町指定史跡）の調査を行う。 調査再開に向けた有識者会議を開催し、調査方針や事業計画に対する意見を取りまとめる。	
最終予算額	0千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	<p>平成26年度をもって調査事業を一旦休止し、令和2年度に調査専門委員会の設立や調査計画の策定等を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発出や令和2年7月豪雨災害により事業を中止しました。</p> <p>なお、令和3年度は豪雨災害からの復旧・復興を最優先としたことから、当初予算に計上しておりません。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	C	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>本事業の中止は、コロナ対策や豪雨災害の対応が最優先のため、止むを得ないことである。</p> <p>今後の調査を期待したい。</p>		
教育委員会評価	-		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財災害対策維持管理事業		
事業の概要	対 象	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化施設、用具	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化活動用具等の保存・継承を図る。	
	具体的な事業内容	令和2年7月豪雨で被災した文化財及び文化活動用具等の、修復及び新調を行う。 ・芦北町地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金交付	
最終予算額	1,165千円	決 算 額	1,165,000円
事業の成果と課題	<p>令和2年7月豪雨で被災した文化財や地域コミュニティ団体所有の施設、用具について、熊本県の球磨川流域復興基金を活用して修復及び新調を行うもので、町内2団体（湯の香太鼓、葦北鉄砲隊）から申請がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湯の香太鼓 太鼓4基（革の張替等修繕）</li> <li>・葦北鉄砲隊 倉庫が水没したため、火縄銃が破損（7丁の新調）</li> </ul> <p>この結果、練習や実演披露が再開され、文化団体として活動できるようになりました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	被災した湯の香太鼓の革の張替えや、葦北鉄砲隊の火縄銃の新調など基金からの支援が適切に行われている。文化財の保護継承を図る上でも適切な対応が図られている。		
教育委員会評価	A		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	歴史・伝統文化の尊重		
事務事業名	文化財災害復旧事業		
事業の概要	対 象	国史跡佐敷城跡	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨で被災した文化財の保護、保存を図る。	
	具体的な事業内容	令和2年7月豪雨で被災した佐敷城跡斜面2か所の土砂崩落箇所について、土砂撤去後に測量設計及び崩落箇所の復旧工事を行う。 ・佐敷城跡災害復旧工事	
最終予算額	8,870千円	決 算 額	8,870,000円
事業の成果と課題	令和2年7月豪雨により被災した佐敷城跡斜面2ヶ所の土砂崩落箇所について、令和2年度中に復旧工事を完了する予定でしたが、災害復旧工事が地域的に集中したことにより労務者の手配調整に不測の日程が生じたため、令和3年度に事業を繰越しました。 工事箇所の法面整形後に布団かご工法による排水構造物を設置し、7月30日に竣工しました。 当事業の実施により、被災箇所の復旧及び土砂崩落による被害を防ぐ構造物が設置され、史跡及び周辺施設の安全性の確保を図ることができました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	令和2年7月豪雨による、被災した佐敷城跡斜面工事が令和3年度まで延期されたが、災害復旧工事が集中しており止むを得ないことである。しかし、布団かご工法や、今後の被害を防ぐ構造物の設置など安全性を保つための工事が丁寧に行われている。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化振興事業		
事業の概要	対 象	町内在住者及び町内の団体、又は文化活動の拠点が芦北町である者	
	目指すべき姿	町内外の芸術団体の交流を促進するとともに、町民の文化、芸術活動への理解を深め、文化、芸術活動を行う者の意欲の向上を図る。	
	具体的な事業内容	九州大会以上の大会に出場する者に対し、経費の補助及び九州大会以上の大会で優秀な成績を残した者を表彰する。 ・芦北町文化振興事業補助金交付 ・芦北町文化振興奨励賞表彰	
最終予算額	2, 537千円	決 算 額	2, 024, 292円
事業の成果と課題	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会等が中止となり、九州大会以上の大会出場申請件数は0件でしたが、令和3年度は4件（全国大会3件、九州大会1件）の大会出場者に補助金を交付し、周知の看板（3枚）を設置しました。</p> <p>また、文化、芸術部門での優秀成績者（6人）へ奨励賞を贈りました。</p> <p><input type="checkbox"/>補助金：全国大会3件（4人）、九州大会1件（2人）</p> <p><input type="checkbox"/>奨励金：特別賞1人、全国大会入賞3人、県大会優勝2人</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
	学識経験者意見	<p>全国大会、九州大会、県大会の補助金や奨励金の交付及び看板作成など、出場者の意欲が高まる支援体制が図られている。</p> <p>今後もさらに、一般・社会人の申請周知をお願いしたい。</p>	
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	文化芸術活動の推進		
事務事業名	文化祭開催事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町の伝統文化や新しい文化を学んでもらい、心豊かな人間性を育てる。	
	具体的な事業内容	伝統芸能や町民の文化活動発表の機会を設けるとともに講演会を開催する。 ・町文化協会団体発表会 ・町民の各種作品展示 ・文化講演会	
最終予算額	0千円	決 算 額	0円
事業の成果と課題	令和3年度の芦北町文化祭開催について、文化協会総会（書面開催）で協会員から意見を聴取しました。その結果を踏まえ、文化協会・町・教育委員会の三者で協議した結果、新型コロナウイルス感染拡大防止と、文化協会員及び来場される方の健康と安全・安心を最優先とし、開催の中止を決定しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
	学識経験者	安全、安心を最優先に、文化協会総会において文化祭の開催か中止かについて協議するなど適切な対応がとられている。 次年度の開催を期待したい。	
教育委員会評価	-		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	星野富弘美術館の充実			
事務事業名	星野富弘美術館運営事業			
事業の概要	対 象	施設利用者		
	目指すべき姿	富弘作品の放つ「いのちの尊さ・いのちの輝き」を通じて、人々に心の豊かさと生活への潤いをもたらす。		
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富弘作品の展示・収集・保存</li> <li>・富弘作品を通じた教育普及活動</li> <li>・富弘美術館との連携及び美術館資料の相互貸借等</li> <li>・美術館の広報</li> </ul>		
最終予算額	15,321千円	決 算 額	13,728,598円	
事業の成果と課題	<p>展覧会については、5回開催しました。令和3年度は、開館15周年を記念して、星野富弘氏と富弘美術館の特別協力により、貴重な水彩原画と関連資料を展示する特別企画展を開催し、2か月間の会期で2,245人の来館がありました。教育普及活動については、第15回詩画公募展を実施し、1,559点の作品が集まりました。</p> <p>また、青少年の家研修中の学校や九州ルーテル学院大学で出前講座を実施し、「心の教育」の推進を図りました。他にも、エントランスロビー照明のLED化や、体温検知カメラの設置を行い、利用者の利便性の向上とコロナウイルス感染拡大防止を図るとともに、収蔵品の管理保存のため、ガス燻蒸を実施しました。</p> <p>なお、入館者数は、前年度から112%増の4,288人となりました。</p>			
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる	<input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った	<input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B		
学識経験者意見	<p>開館15周年記念としての特別企画展の開催や、詩画公募展、出前講座など、魅力的な美術館運営が実施されている。</p> <p>また、施設面でも、LEDの照明化やコロナウイルス対策、収蔵品のガス燻蒸などきめ細かい施設管理が行われている。</p>			
教育委員会評価	B			
担 当 課	スポーツ・文化振興課			



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	スポーツ振興支援事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	助成を行うことで、組織の強化や大会に出場しやすい環境を整え、競技スポーツの活性化を図る。	
	具体的な事業内容	競技力向上と育成強化を目的とした活動を行う団体等に対する補助。九州大会・全国大会に出場する監督及び選手に対する経費の補助。優秀な個人・団体・指導者の顕彰を目的とした「芦北町スポーツ賞」の交付。町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付する。	
最終予算額	6,035千円	決 算 額	5,131,004円
事業の成果と課題	<p>社会体育クラブに育成強化費等を補助し、九州大会以上の大会に出場した選手・監督に大会参加補助を行うとともに、全国大会出場者は看板を設置し町民へ周知しました。また、一年間で最も活躍した選手・指導者に、スポーツ賞及び奨励金を交付し、町外からスポーツ留学をしてきた中学生及び受け入れを行った団体等に対し、下宿費等の補助金を交付しました。なお、大会出場補助やスポーツ賞奨励金については、大会等が再開され、前年に比べ実績が増加しました。</p> <p>社会体育クラブ育成補助金（16団体・333人）          大会出場補助金（九州大会72人・全国大会46人）          スポーツ賞奨励金（42人）          中学生スポーツ留学（4人・3団体）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>九州大会以上の大会に出場した選手、監督への参加補助、全国大会に出場した選手の看板作成、活躍した選手へのスポーツ賞奨励金、中学生スポーツ留学者への補助金交付など効果的な支援が図られている。</p> <p>今後も、有能な人材を育てるために継続してほしい。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	温泉プール管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	利用者に安全かつ快適な利用環境を提供する。 ・施設の管理運営 ・各種教室の開催	
最終予算額	28,842千円	決算額	25,424,328円
事業の成果と課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の清掃・消毒の徹底を行うとともに、窓口では利用者に対しマスクの着用・検温を実施し、プール内や更衣室等では換気や利用者間の密を避ける対応を行いました。 令和3年度の町営温泉プールの利用者数は26,601人で、前年度16,048人に対し65.8%の増となりました。 なお、感染防止対策として、プール内の清掃ロボットを更新しました。 最後に、施設の老朽化により、更新が必要なものを計画的に行い、今後も利用者が安全かつ快適に利用してもらうために、施設環境を整備して行く必要があります。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	施設が老朽化しているが、利用者が65%以上の増加など、プール利用促進が図られている。また、コロナ禍で、施設の清掃、消毒など安全面でも徹底した管理運営が行われている。 今後も、安全を第一に施設環境整備をお願いしたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業		
事業の概要	対 象	クラブ利用者	
	目指すべき姿	町民が、年間を通して多種多様なスポーツを行い、体力向上・健康づくり・仲間づくりの場として活用できる組織、団体の確立を目指す。	
	具体的な事業内容	芦北町総合型地域スポーツクラブ（JKAトレジャークラブ）のスポーツ・レクリエーション活動等に対し補助金を交付する。	
最終予算額	2,540千円	決 算 額	2,400,000円
事業の成果と課題	<p>スポーツ学習教室（5教室）は、子どもから高齢者までいつでも・どこでも・だれでも楽しく参加できる環境が整えられ、町民の体力向上・健康づくり・仲間づくりに寄与することができました。また、育成教室（8教室）では、年々成果が表れ小中学生の競技力向上が図られています。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止及び令和2年7月豪雨災害の影響により活動が制限され、会員数が減少しましたが、令和3年度は増加しました。（会員数：191人、28人増）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍でも、安全面を十分に配慮しながらスポーツ学習教室や育成教室など、子どもから高齢者まで体力づくり、健康づくりをめざした活動が推進されている。特に育成教室においては、小中学生の競技力向上が図られるなど、今後各種大会での活躍が期待される。</p>		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育イベント開催事業		
事業の概要	対 象	イベント参加者	
	目指すべき姿	地域のコミュニケーションづくりや、日常的にスポーツに親しむきっかけを提供するとともに、競技力の向上を目指す。	
	具体的な事業内容	交流イベント、町民体育祭陸上大会、熊日三太郎駅伝競走大会等の実施。	
最終予算額	701千円	決 算 額	171,309円
事業の成果と課題	<p>交流イベントのグラウンド・ゴルフ大会、野球大会、バレーボール大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、種目協会主催で開催することができましたが、各種町民体育祭、熊日三太郎駅伝競走大会、藤井瑞希杯バドミントン大会、トップアスリート合宿誘致事業等については、令和2年7月豪雨災害の影響や新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮しながら、町民がイベントに参加できる機会の提供が必要と考えます。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	-	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	-	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、予定された各種目競技が縮小されたことは仕方がないが、交流イベントとしてのグラウンド・ゴルフ大会、野球大会、バレーボール大会が開催されたことは喜ばしいことである。今後も、感染症対策をしっかりと行い可能な競技は実施する方向で検討してほしい。</p>		
教育委員会評価	-		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	芦北町スポーツ協会支援事業		
事業の概要	対 象	町民	
	目指すべき姿	町民のスポーツ人口の拡大と競技力向上を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツ協会活動（各種町民体育祭開催・郡民体育祭選手派遣・熊日三太郎駅伝競走大会選手派遣・県民体育祭選手派遣等）に対し補助金を交付する。	
最終予算額	2, 214千円	決 算 額	1, 014, 000円
事業の成果と課題	<p>各種町民体育祭（13競技）、郡民体育祭、熊日三太郎駅伝競走大会、熊日郡市対抗駅伝については、新型コロナウイルス感染拡大防止や、令和2年7月豪雨災害の影響のため中止しました。</p> <p>なお、大会等の中止による各種目競技の競技力低下を避けるため、地域体育協会や種目協会に補助を行い選手の育成に務めました。</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮しながら、7地域体協・各種目協会の競技力向上に寄与するため支援体制の確立を図ります。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	コロナ禍で、多くの競技が中止となっているが、地域体育協会、種目協会に補助を行うなど適切な対応が図られている。		
教育委員会評価	B		
担 当 課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	スポーツ推進委員協議会運営事業		
事業の概要	対 象	スポーツ推進委員	
	目指すべき姿	本町における、地域スポーツの振興を支える人材の資質向上と、スポーツ施策の活性化を図る。	
	具体的な事業内容	スポーツの指導者として、実技指導や各種スポーツ大会の実施、スポーツに関する指導・助言・普及を行う。 ・年6回の定例会の開催・広報紙1回の発行 ・各種研修会への参加 ・主催事業の開催及び町事業への積極的参加・協力	
最終予算額	1,228千円	決 算 額	505,120円
事業の成果と課題	スポーツ推進委員会議は3回開催しましたが、主催事業のイベント（ラケットテニス大会、ドッジビー大会）については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 広報活動では、スポーツ推進委員の活動をより身近に知ってもらうため、ホームページやSNSによる周知を行うとともに、芦北町の広報紙にも掲載しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	B	<input type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input checked="" type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	コロナ禍でも、3回の定期的なスポーツ推進委員会議の開催、広報活動など生涯スポーツの普及・啓発が図られている。 今後も制限がある中にも、各地域体育協会への指導助言をお願いしたい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者・町民総合センター及び各体育施設	
	目指すべき姿	利用者の健康増進及び親睦と、体育・スポーツの振興を図る。	
	具体的な事業内容	町民総合センター及び各体育施設を安全、安心して利用できるよう管理、運営を行う。	
最終予算額	546,337千円	決 算 額	360,309,376円
事業の成果と課題	<p>町民総合センターを中心に、各体育施設と夜間学校体育施設の適切な維持管理運営を行いました。なお、町民総合センターは特定天井等の改修工事に伴い、令和3年9月から工事に着手しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まん延防止等重点措置の適用や熊本県のリスクレベルに応じて時間短縮営業などを行いました。</p> <p>各体育施設は老朽化により、今後も施設や設備等、多額の予算を伴う修繕が必要となることから、計画的に改修を行い、利用者の安全を第一に管理運営を行っていく必要があります。</p> <p>町民総合センター利用者数：11,250人（テニスコート・弓道場・アーチェリー場を含む）                  その他各体育施設利用者数：70,242人</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	町民総合センターの改修工事を行うなど、適切な施設の整備管理が施されている。今後は老朽化した施設についても順次計画的に改修を進めてほしい。		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		

## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	地域資源活用総合交流促進施設管理運営事業		
事業の概要	対 象	施設利用者	
	目指すべき姿	施設の利用を促進することで、文化・スポーツ等による交流人口の増加を図る。	
	具体的な事業内容	施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、運営を行う。	
最終予算額	4, 395千円	決 算 額	3, 276, 612円
事業の成果と課題	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、まん延防止等重点措置の適用や熊本県のリスクレベルに応じて時間短縮営業などを行いました。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止による「新しい生活様式」を取り入れ、周辺の体育施設との連携並びに職場や学校行事による利用促進など、より多様な利用形態を目指し、更なる交流人口の増加を図っていく必要があります。</p> <p>交流センター利用者数：9, 825人（うち宿泊利用：19人）</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	B	<input type="checkbox"/> 満たしている <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	B	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	B	<input type="checkbox"/> 検討の余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	B	
学識経験者意見	<p>コロナ禍で、利用者数の減少がみられるが、安全面からも仕方のないことである。今後は、企業や青少年教育施設などにも働きかけて利用促進を図ることも考えられる。</p>		
教育委員会評価	B		
担当課	スポーツ・文化振興課		



## 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	体育施設災害対策事業		
事業の概要	対 象	令和2年7月豪雨災害により被災した体育施設	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨により被災した施設を復旧し、地域住民の利用促進を図る。	
	具体的な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉尾運動公園の土砂撤去用機械借上げ</li> <li>・吉尾運動公園の休憩所解体工事</li> </ul>	
最終予算額	7,953千円	決 算 額	7,845,120円
事業の成果と課題	令和2年7月豪雨により、吉尾運動公園内に堆積した土砂等の撤去及び休憩所の解体を実施しました。		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	A	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	<p>被災した体育施設の安全を第一に、吉尾運動公園の土砂の撤去、休憩所の解体と適切な措置がとられている。</p> <p>今後も危険個所については早急な対応をお願いしたい。</p>		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		

# 点検及び評価結果報告書

具現化方針	生涯スポーツの推進		
事務事業名	社会体育施設災害復旧事業		
事業の概要	対 象	令和2年7月豪雨により被災した体育施設	
	目指すべき姿	令和2年7月豪雨により被災した体育施設を復旧し、施設利用者の利用促進を図る。	
	具体的な事業内容	・湯浦温泉射撃場災害復旧工事	
最終予算額	2,999千円	決 算 額	2,916,307円
事業の成果と課題	<p>令和2年7月豪雨により被災した湯浦温泉射撃場の復旧工事を行いました。</p> <p>なお、クレー皿放出機が外国製で新型コロナウイルス感染症の影響により生産が遅れたため、令和3年度に繰越して実施しました。</p>		
教育委員会事務局の評価	事業のニーズ	A	<input checked="" type="checkbox"/> 満たしている <input type="checkbox"/> やや満たしていない <input type="checkbox"/> ほぼ満たしている <input type="checkbox"/> 満たしていない
	町関与の範囲	A	<input checked="" type="checkbox"/> 町が主体となるべき <input type="checkbox"/> 町の関与は縮小できる <input type="checkbox"/> 町の関与は必要 <input type="checkbox"/> 関与のあり方を再検討
	達成度	B	<input type="checkbox"/> 目標を達成した <input type="checkbox"/> 目標をやや下回った <input checked="" type="checkbox"/> 目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標を大きく下回った
	効率性 (事業の効率性を高められるか)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面は余地なし <input type="checkbox"/> かなり余地あり
	公平性 (事業効果の配分や受益者負担は適切か)	A	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地なし <input type="checkbox"/> 一部余地あり <input type="checkbox"/> 当面検討の余地なし <input type="checkbox"/> かなり検討の余地あり
	総合評価	A	
学識経験者意見	被災した、湯浦温泉射撃場の復旧工事及びクレー皿放出機の設備が施された。今後、コロナ収束後の活発な活用を期待したい。		
教育委員会評価	A		
担当課	スポーツ・文化振興課		